

パテント紹介

鉄道総研は2008年4月1日現在で、2221件の特許権等を保有しています。今回、これらの中から、実際に各方面で利用されているもの、または活用可能と考えられる特許権等について幾つかご紹介致します。この機会にぜひ、実施のご検討を頂ければと思います。

施設関連

○ラダー型マクラギおよび車両用軌道

(特許番号:特許第3217932号)

保守量を低減し、高架橋の構造物音を解消できる「はしご」状構造の軌道です。

平成20年度全国発明表彰 日本弁理士会会長賞受賞



○震央距離及びマグニチュード推定方法とそのための装置 (特許番号:特許第3695579号)

大地震ほどマグニチュードの推定に時間を要した、従来の検知警報装置の課題を克服した、早期地震警報のための地震諸元推定方法です。

平成20年度全国発明表彰 発明賞受賞

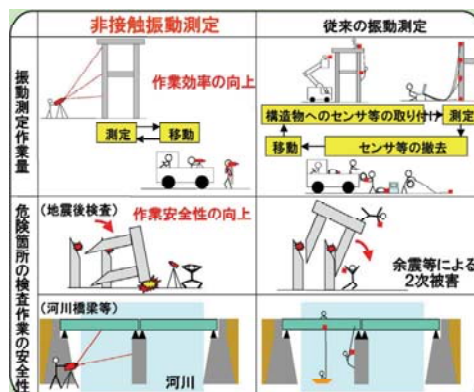


○構造物の振動特性の非接触計測による同定方法及び装置

～Uドップラー～

(特許番号:特許第4001806号)

1～数10m離れた構造物の振動を簡単かつ安全に非接触測定できます。



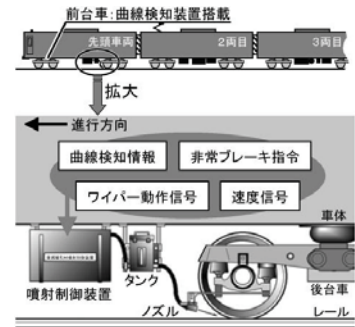
車両関連

○摩擦緩和材とその收容装置及び摩擦緩和装置

～frimos～

(出願番号:特願2005-75042)

列車が急曲線通過時に発生するきしり音や摩耗の低減、乗り上がり脱線の防止に効果があります。



○鉄道車両用多目的收容装置

(出願番号:特願2006-51788)

車両内に居場所のないベビーカー利用者や大きな荷物を持つ人などに、居場所を提供するための設備です。



電気関連

○列車検知装置

～COMBAT～

(列車検知に無線を用いた閉そく装置)

(特許番号:特許第3830312号)

列車検知に無線(マイクロ波トランスポンダ)を使用した低コストな新しいシステムです。



○視覚障害者用誘導案内システム

(特許番号:特許第3657434号)

鉄道における情報面のバリアフリー化を目指した、利用者にとって便利で、かつ安全な動的誘導案内を提供するものです。

